

科目名		授業形態	担当教員名	
体外循環装置学Ⅱ		講義	遠藤 宏和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
体外循環時における非生理的環境下での安全な操作法、機器の保守・管理・事故事例とその対応について講義する。				
授業の到達目標				
人工心肺をはじめとする体外循環は専門知識がなければ安全に使用操作することは危険であり、その重要性を認識し、適切な管理ができる。				
授業計画				
回	内容			
1	人工心肺の実際（開始前と患者管理）			
2	人工心肺の実際（非生理的環境下での管理－低体温）			
3	人工心肺の実際（非生理的環境下での管理－希釈）			
4	人工心肺の実際（臓器血流）			
5	人工心肺の実際（内分泌変動・抗凝固管理）			
6	人工心肺の実際（開始から離脱操作）			
7	人工心肺の実際（モニタリング）			
8	人工心肺の実際（人工心肺からの離脱）			
9	人工心肺の実際（トラブル — 空気塞栓など）			
10	人工心肺の実際（トラブル — 大動脈解離など）			
11	補助循環装置（IABPの構成・適応）			
12	補助循環装置（IABPの原理・トラブル）			
13	補助循環装置（PCPSの構成・適応）			
14	補助循環装置（補助人工心臓）			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
臨床工学講座 生体機能代行装置学 体外循環装置 第2版		見目恭一	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				